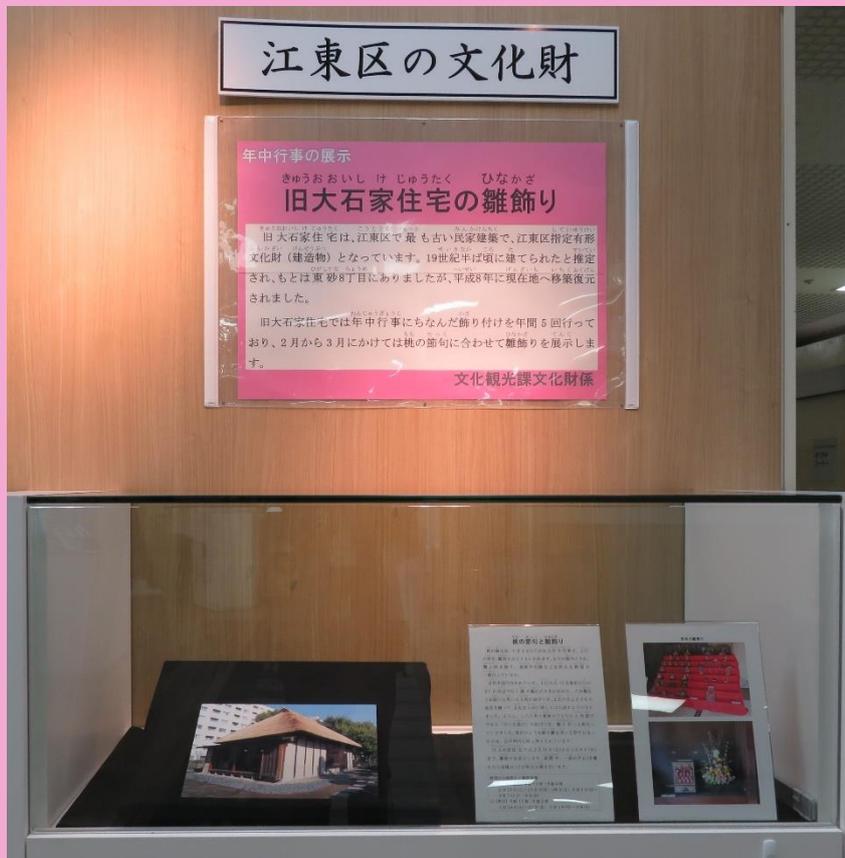


年中行事の展示

きゅうおおいし け じゅうたく ひなかざ 旧大石家住宅の雛飾り

きゅうおおいし け じゅうたく こうとうく もっと みんなげんちく していゆうけいぶんかざい けんぞうぶつ
旧大石家住宅は、江東区で最も古い民家建築で、江東区指定有形文化財（建造物）となっ
ています。せいきなか ころ た すいてい ひがしすな ちょうめ へいせい
19世紀半ば頃に建てられたと推定され、もとは東砂8丁目にありましたが、平成8年に
げんざいち いちくふくげん
現在地へ移築復原されました。

ねんじゅうぎょうじ かざ
旧大石家住宅では年中行事にちなんだ飾り付けを年間5回行っており、2月から3月にかけて
もも せつく ひなかざ てんじ
は桃の節句に合わせて雛飾りを展示します。





きゅうおおいし け じゅうたく
旧大石家住宅

もも せつく ひなかざ 桃の節句と雛飾り

もも せつく
桃の節句は、3月3日に行われる ねんじゅうぎょうじ 年中行事で、じょうし 上巳の節句、ひなまつ 雛祭りなどともいわれます。女子
せつく ひなにんぎょう かざ ひしもち しるざけ そな ふうしゅう いっぱんか
の節句とされ、雛人形を飾り、菱餅や白酒などを供える風習が一般化しています。

こだい
古代中国で行われていた、じょうし ひ 上巳の日（3月最初の巳の日）に水辺で行う みそぎ ぎれい 禊の儀礼が日本に伝わり、この儀礼とお祓いに用いる人形が結びつき、じょうし ひ 上巳の日に子どもの成長を願って、さいやく ひとがた 災厄を人形
うつ
に移して川に流すようになりました。さらに、この人形と貴族の子どもの人形遊びである「ひい
あそ
な遊び」が結びつき、ひなにんぎょう 雛人形へと変わっていきました。現在のような飾り雛を用いる祭りになっ
たのは、え ど じだいいこう 江戸時代以降と考えられています。

きゅうおおいしけじゅうたく
旧大石家住宅では、2月21日（土）から3月8日（日）まで、ひなかざ てんじ 雛飾りを展示します。期間
ちゅう いちぶ へいじつ
中、一部の平日（月曜日から金曜日）では特別公開を行います。

期間中の開館日と開館時間

○【土曜日・日曜日・祝日】午前10時～午後4時

2月21日（土曜日）～23日（月曜日・祝日）・28日（土曜日）、

3月1日（日曜日）・7日（土曜日）・8日（日曜日）

○【平日】午前11時～午後2時

2月24日（火曜日）～27日（金曜日）、3月2日（月曜日）・3日（火曜日）

昨年の雛飾り

